

施設評価調書

基準日 令和7年3月31日

施設名	板戸海水プール			施設番号	04018
施設大分類	その他			施設小分類	その他
所管課	下田市観光交流課				

設置目的の達成度

計画と実績

施設名	板戸海水プール			施設番号	04018	
設置目的	市民の海浜利便の向上及び観光の振興を図る					
運営事業名	R5年度実績値	R6年度目標値	R6年度実績値	対前年度比	目標達成率	評価
				-	-	
				-	-	
				-	-	
				-	-	
				-	-	
				-	-	
設置目的に対する総合評価						
目的達成度 の評価基準	平成18年度より休止している。					

現状分析

運営事業の意義と現状	平成18年度より休止している。
上記の原因	施設の老朽化による維持費の負担の増加や現在の自然志向からマイナスイメージが懸念されること。施設の設置目的である市民の体力及び観光の発展を図るについては、敷根温水プールが1年中運営されており役目を終えたものと思う。 観光の発展については、竣工当時は地元誘客につながったものと思われる。しかし、

次年度以降への改善点

施設評価調書

基準日 令和7年3月31日

施設名	板戸海水プール			施設番号	04018	
施設大分類	その他	施設中分類	その他	施設小分類	その他	
所管課	下田市観光交流課					

効率性

計画と実績

効率性指標		R5年度実績値	R6年度目標値	R6年度実績値	対前年度比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数	0 人	0 人	0 人	-	-
	B 下田市年間経費	0 円	0 円	0 円	-	-
	B／A	- 円	- 円	- 円	-	-
②光熱水費		0 円	0 円	0 円	-	-
効率性指標の考え方等						

その他の指標

受益者負担 の適正性	区分	説明	単位	R4年度	R5年度	R6年度
	①使用料原価	1 m ² 1 時間当たりの原価	円	円	円	円
	②稼動割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%	%	%	%
	③ 1 m ² 1 時間適正使用料	① × ②	円	円	円	円
	④現行 1 m ² 1 時間使用料の平均	大・小ホール、会議室、楽屋等の平均値	円			円
	⑤適正化計画	大・小ホール、会議室、楽屋等の見直し				

運営に掛かる税負担 (市民負担)	年度		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(予算)
	人口(4月1日:人)		20,287	19,963	19,545	19,016
	人口1人あたり(円/人)	運営経費	0	0	0	0

* 人口1人あたりの運営経費：運営経費（支出計）／人口 * 小数点以下切り上げ

* 人口1人あたりの年間総経費：下田市負担年間総経費／人口 * 小数点以下切り上げ

施設評価調書

基準日 令和7年3月31日

施設名	板戸海水プール			施設番号	04018
施設大分類	その他			施設小分類	その他
所管課	下田市観光交流課				

利用者満足度調査

施設評価調書

基準日 令和7年3月31日

施設名	板戸海水プール			施設番号	04018
施設大分類	その他	施設中分類	その他	施設小分類	その他

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	板戸海水プール			2 担当課 担当係	観光交流課 観光施設係		
3 所在地	下田市白浜130番地			4 設置年月			
5 総合計画の位置付け	基本計画の分野			分野3：観光・産業・雇用・移住促進			
	施策体系			施策1：特色ある観光業の促進			
6 設置目的	市民の海浜利便の向上及び観光の振興を図る						
7 設置根拠	県の観光施設整備事業						
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 1999.63m ²					
	実施事業の概要	現在、休止中（平成18年度から休止）。 原因：敷根温水プールの完成により役目を終えた。施設の老朽化、現在の自然志向からするとマイナスイメージとなっている。					
	料金体系 (利用料金)	料金区分					
		主な利用料金					
	減免内容						
利用料金制度		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
施設運営方法				指定管理者			
				一部委託 委託内容			
直接従事職員							

施設評価調書

基準日 令和7年3月31日

施設名	板戸海水プール			施設番号	04018
施設大分類	その他	施設中分類	その他	施設小分類	その他

施設の概要

9 市内の類似施設	下田市所有	
	民間所有	

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		R6年度末残高	備考
	建設事業費			
地質調査費		建物減価償却取得価格		
設計競技		建物年間減価償却額		
周辺整備				
用地購入		建物減価償却後残高		
実施設計料				
工事管理費				
取得価格 計		土地残高		
建設工事		建設工事残存価格		
電気設備工事		電気設備残存価格		
機械設備工事		機械設備残存価格		
備品購入費		物品減価償却後残高		
その他委託				
その他工事				
事務費				
財源内訳				
国・県支出金				
市債		市債残高		
一般財源				
基金繰入				

11 備考	
-------	--